

男女共同参画情報コーナー



～一人一人が幸せを実感できるまちへ～

【編集】＝「とらいあぐる」編集員

【問合せ先】＝本庁企画政策部 ひとみらい政策課
ひとみらい政策グループ

☎(23)5111(内線4741)

男女共同参画フォーラム
in 薩摩川内 開催レポート
(後編)

7月2日(日)、国際交流センターにおいて開催された同フォーラムの後編として、各分科会の内容を紹介します。

■第1分科会

薩摩川内市ダイバーシティ研究会(市女性チャレンジ委員会)での学びを生かすための研究会)が主体となり、基調講演を受けてのダイアログカフェ(胸の中にある思いを素直に声に出すための意見交換の場)を行いました。
「人の意見を尊重する」「秘密を守る」「時間を守る」という3つの約束事を決め、参加者の多様な思いを「つぶやきカード」に書いてもらい、グループで

共有しました。

これまでの生活の中での困り事や心配事を出し合い、そこから気付いたことや、心の中に埋もれている思いなどを話し合いました。

最後に、グループで話し合ったことを各グループの代表者が発表されました。これらの思いを安心して「つぶやき」を具体化することができた」という若い参加者の声も聞かれました。発表者の生き生きとした表情と内容に、皆さん共感されていました。



「つぶやき」の紹介

▼子育てをしていた頃は精一杯だったが、もっと子どもの気持ちを思いやれたのかもしれない。
▼娘に「私はいつもあなたの味方だよ」と言ったことを思い出した。うれしそうなお娘の表情が目につかんだ。
▼落ち込んでいた私に「生きているだけですごいこと。それぞれがいろいろなことを乗り越えたからここにいらる」と言葉を掛けてくれた人がいた。思わず涙がこぼれた。

■第2分科会

せんだいC A P※キャップが主体となり「未来への保険 それはみんな子育てをテーマにワークショップを行いました。基調講演から引き続き、重永侑紀しげなぐみさんを進行役に迎え、孤立感を抱えた人との向き合い方について話し合いました。

人と人の関わり合いは、時にわずらわしいと感じるものですが、「孤立感を抱えず、自立(自律)して生きていくための保険」であるとの考えを導くことができました。

また、日頃から子どもの話を受け入れる「心」を持ち、耳を傾ける「技術」を学ぶ姿勢が大切との認識を共有しました。

※C A P II子どもへの暴力防止に取り組む市民団体



- ・周りの大人から冷たくされる
- ・心遣いや言葉掛けをされないことがない
- ・会話がな



孤立感を抱えたまま育つ

- ・周りの大人から優しくされる
- ・普段から言葉掛けをされることが多く、会話するのが当たり前



孤立感を抱えず、自立して生きていける

▼主権者「せんだいC A P」より一言

人と人をつなぐことに合わせ、自身の過去・現在・未来もつないでもらえたような気がします。C A Pの言葉である「安心して」「自信を持って」「自由に」というキーワードのもと、充実した時間を過ごすことができ、私たちせんだいC A Pの力にもなりました。